

一般学術講演分類

<General Session on Electrochemistry and Related Areas>

(主催:大会学術企画委員会)

各シンポジウム講演のテーマに該当しない場合、下記のカテゴリーで該当するものを選定し申込み。

1. 電気化学基礎
2. 電気化学応用
3. 材料・デバイス
4. その他

・問合せ先:東京理科大学 近藤 剛史

(E-mail:t-kondo@rs.tus.ac.jp 電話:04-7124-1501)

中央大学 松永 真理子

(E-mail:matsunaga@elect.chuo-u.ac.jp 電話:03-3817-1864)

分子機能電極 – 界面電子移動制御とその応用

<Molecularly Functionalized Electrodes – Fundamentals and Applications>

(主催:分子機能電極研究会)

電極 – 溶液界面の分子レベルでのデザイン・改質の基礎的評価と応用を探る研究発表を募集。有機化合物、無機化合物、金属錯体による単分子修飾、金属ナノ粒子、コロイド粒子、アドアトム、LB 膜修飾、有機・無機・高分子薄膜形成などによる界面制御および電極触媒材料、燃料電池電極材料、リチウム電池・電子ペーパー用活物質の化学修飾、固体活物質粒子薄膜層の相変化の電気化学デバイス・センサへの応用、さらに幅広い関連領域および周辺分野からの発表を歓迎する。シンポジウム企画講演および一般講演で企画。

・問合せ先:神奈川大学 松本 太

(E-mail:fmatsumoto@kanagawa-u.ac.jp 電話:045-481-5661)

光電気化学とエネルギー変換

<Photoelectrochemistry for Energy Conversion>

(主催:光電気化学研究懇談会)

本シンポジウムでは、光化学と励起状態に関わる電気化学プロセスおよび物質・エネルギー変換に関する広い分野についての研究成果を討論する。光電変換、発光、プラズモン電気化学、光合成モデル系などの基礎研究から、太陽電池、光触媒、ソーラー水素製造、CO₂還元、表示素子等の応用研究を含め、広範囲のトピックスを議論する。さらには省エネルギー・低環境負荷システム開発にむけた設計など産業界にインパクトを与える話題も議論する。シンポジウム企画講演および一般講演で企画。学生講演賞を設けて優れた口頭講演を顕彰する。

・問合せ先:名古屋大学 鳥本 司

(E-mail:torimoto@chembio.nagoya-u.ac.jp 電話:052-789-4614)

有機電子移動化学が織りなす多彩な分子変換

<Diverse Molecular Transformations Enabled by Organic Electron-Transfer Chemistry>

(主催:有機電子移動化学研究会)

電極や光によって誘起される電子移動反応は、現在では有機合成化学における一般的な手法として広く認知されつつあり、そのメカニズムの理解と制御の重要性は一層高まっている。

本シンポジウムでは、電子移動反応を基盤とする有機化学・材料化学・エネルギー化学など多彩な分野から研究発表を募集し、学際的な視点から有機電子移動化学の現在を俯瞰する。シンポジウム企画講演ならびに一般講演で企画。

・問合せ先: 富山大学 岡本 一央

(E-mail: koka@sci.u-toyama.ac.jp 電話: 076-445-6625)

生命科学と電気化学

<Life Science and Electrochemistry>

(主催: 生物工学研究会)

生物工学、生体医工学、生命科学に関連する電気化学の研究全般。生体関連物質(酵素、補酵素、タンパク質等)の電極反応、細胞の電気化学的な制御、バイオセンサ、バイオイメージング、バイオ燃料電池などに関する基礎研究から、医療・医薬・ヘルスケア、食品、環境、エネルギー分野への応用研究まで、幅広いテーマの講演を募集する。シンポジウム企画講演および一般講演で企画。

本シンポジウムでは独自の優秀学生講演の選考・授賞を行う。エントリー希望者は、講演申込締切り日までに、①所属 ②学年 ③氏名 ④E-mail アドレス ⑤指導教員名 ⑥指導教員の E-mail アドレス を明記の上、「講演申込とは別に」生物工学研究会事務局まで E-mail にて申請すること。

申込先: 生物工学研究会事務局 E-mail: bioeng@electrochem.jp

・問合せ先: 筑波大学 辻村 清也

(E-mail: seiya@ims.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-5358)

固体化学の新しい指針を探る

<Exploration into Frontiers in Solid State Chemistry>

(主催: 固体化学の新しい指針を探る研究会)

1. 固体の化学に関連する全ての分野の研究。特に、新現象、新理論、従来理論で説明しにくい特異現象など、固体化学分野の発展の芽となるもの。

2. 「SOFC/SOEC」、「PEFC/PEEC」、「二次電池」など固体化学の応用に関する研究。

・問合せ先: 東北大学 高村 仁

(E-mail: solid@electrochem.jp 電話: 022-795-6976)

電池の新しい展開

<New Aspects of Battery Technology>

(主催: 電池技術委員会)

電子機器、電気自動車 (EV, HEV, PHEV), 電力貯蔵用等に用いられる一次電池、二次電池や全固体電池、金属空気電池、フッ化物電池などの次世代電池の電極材料、電解質材料、電極反応機構、劣化機構、界面形成・評価技術、電池構成技術、安全性評価技術等に関する基礎から応用・理論計算・インフォマティクスまでの広範囲の研究発表を募集。シンポジウム企画講演および一般講演で企画。(優秀学生講演賞の選考は行わない。)

・問合せ先: 京都大学 宮原 雄人

(E-mail: cbt-ecs@elech.kuic.kyoto-u.ac.jp 電話: 075-383-7193)

キャパシタ技術の新しい展開

<Evolution of New Technologies in Advanced Capacitors>

(主催: キャパシタ技術委員会)

モバイル、電子機器用の小型コンデンサから、エネルギー用大容量キャパシタまで、キャパシタ(コンデンサ)の用途は広がりを見せている。これら広範囲にわたるキャパシタの基礎科学、材料技術および利用に関する研究発表を広く募集。周辺領域からの話題提供も歓迎する。

・問合せ先: 北海道大学 幅崎 浩樹

(E-mail: capatech@electrochem.jp 電話: 011-706-6575)

社会基盤を支える腐食科学と表面処理技術

<Corrosion Science and Surface Control Engineering Supporting Social Infrastructure>

(主催: 腐食専門委員会)

本シンポジウムでは、産業や社会インフラを支えるうえで重要な腐食科学と表面処理技術など、広く社会に関わる研究発表とディスカッションを行う。シンポジウム企画講演(2件)と一般・学生講演で企画している。学生会員の講演の中から、優秀学生講演賞の選考・授賞を行う。エントリー希望者は、講演申込締切り日までに、①所属 ②学年 ③氏名 ④E-mail アドレス ⑤指導教員名 ⑥指導教員の E-mail アドレス を明記の上、「講演申込とは別に」kfushimi@eng.hokudai.ac.jp まで申請すること。

・問合せ先: 北海道大学 伏見 公志

(E-mail: kfushimi@eng.hokudai.ac.jp 電話: 011-706-6737)

化学センサの新展開

<The Latest Development in Chemical Sensors>

(主催: 化学センサ研究会)

ガスセンサ、バイオセンサ、イオンセンサなどの化学センサ材料・システム、MEMS、マイクロナノデバイス、スマートセンサ、医療関連分野、DX の活用、GX への展開などの全般について、基礎から応用までの幅広い研究発表を募集。なお、このシンポジウムは第 78 回化学センサ研究発表会として開催する。台湾および韓国のガスセンサに関連する著名な研究者によるシンポジウム企画講演および一般講演を予定。

・問合せ先: 兵庫県立大学 安川 智之

(E-mail: yasu@sci.u-hyogo.ac.jp 電話: 0791-58-0171)

マイクロ～ナノ構造材料・デバイス形成の最先端技術

<The State of the Art in Fabrication of Micro- and Nano-Structure Materials and Devices>

(主催:ナノ・マイクロファブ리케이션研究会)

近年、微細構造形成手法は、電子工学や蓄電、光学に至るまで様々なデバイスに対し適用可能性を見せており、SDGs を達成するための省エネルギー社会、カーボンニュートラル社会の構築にも大きく貢献することが期待される。本シンポジウムではマイクロ～ナノレベルの構造／形態を形成可能とする様々な技術の開発と応用に関わる講演を幅広く募集する。本シンポジウムでは独自の優秀学生講演の選考・授賞を行う。エントリー希望者は、講演申込締切り日までに、①所属 ②学年 ③氏名 ④E-mail アドレス ⑤指導教員名 ⑥指導教員の E-mail アドレス を明記の上、「講演申込とは別に」ナノ・マイクロファブ리케이션研究会事務局まで E-mail にて申請すること。(これまでの電気化学会大会で受賞経験の無い学生を対象とする)

・問合せ先:東京都立大学 柳下 崇

(E-mail:yanagish@tmu.ac.jp 電話:042-677-2842)

ナノスケール界面・表面の構造とダイナミクス

<Structure and Dynamics on Nano-scale Interface and Surface>

(主催:ナノ界面・表面研究懇談会)

表面における反応プロセスならびに界面構造を、原子・分子レベルまたはナノスケールで理解することは、基礎・応用の両面において重要である。界面・表面構造、表面分光、反応機構、電極触媒、ナノ微粒子、結晶成長・薄膜形成、センサー、理論計算など、広範囲の研究発表を募集。シンポジウム企画講演及び一般講演で企画。

・問合せ先:千葉大学 星 永宏

(E-mail:hoshi@faculty.chiba-u.jp 電話:043-290-3384)

明日をひらく技術・教育シンポジウム

<Symposium of Technology and Education for the Future>

(主催:技術教育研究懇談会)

学術・工学的技術に関する新規性・独創性や教育的意義のある研究成果を発表する交流の場を提供する。少なくとも1回は当シンポジウムでの口頭発表を含み、登壇者として合計3回の電気化学会大会(春、秋)での口頭発表(PRiMEでの口頭およびポスター発表も含む)を行った大学院修士課程以下の学生または24歳以下の若手技術者に当懇談会名で若手奨励賞を授与する。また表彰時は当シンポジウムでの口頭発表登壇を義務とする。受賞希望の方は指導教員または上司から推薦書(書式は任意)を当該大会の参加申込〆切までに当懇談会事務局長(東京高専 城石英伸、h-shiroishi@tokyo-ct.ac.jp)までメール送付すること。

・問合せ先:和歌山工業高等専門学校 綱島 克彦

(E-mail:tsunashima@wakayama-nct.ac.jp 電話:0738-29-8413)